

令和3年度 第1回塩竈市防災会議 会議録

令和3年12月6日(月) 15:00～

塩竈市魚市場 中央棟2階 大会議室

会議内容

- (1) 開会
- (2) 会長（市長）挨拶
- (3) 委嘱状交付
- (4) 会議録署名委員の指名
- (5) 塩竈市地域防災計画の概要について

資料2に基づき、事務局から説明した。

【質疑・意見等】

- ・ 特になし

(6) 議事

- ① 塩竈市地域防災計画改訂方針案について

資料3に基づき、事務局から説明した。

【質疑・意見等】

塩竈消防団

- ・ 町内会向けのアンケート調査について、回収件数95件は少ないのではないかと。各町内会を訪問する等の工夫をしたのか。どのような方法でアンケート調査を実施したか教えてほしい。

事務局

- ・ 市内の全165町内会の会長宛にアンケート調査票を郵送し、95町内会から回答を返送いただいた。

市長

- ・ 町内会長を訪問する等して回答率を上げることで、もっと市民の声を聴くことができるとうい。

事務局

- ・ 来年度以降、それぞれの地区ごとに町内会説明会を実施し、地域防災計画に関する意見を広く聴取していく。

塩竈消防団

- ・ 資料3 6ページについて、「自動車避難が必要だと感じる」地区は町内会ご

とに表示されているのか。

事務局

- ・ 詳細は後程確認させていただくが、町内会単位でアンケート調査を実施し、色付けして表示している。

東北大学災害科学国際研究所

- ・ 地域防災計画の改訂は上位計画に伴う修正のみ行うのが一般的であるが、アンケート調査で市民の意見を聴いているのは良いことである。
- ・ 高齢化・若手の防災意識の低さによる人材不足を解消するための特効薬はない。
- ・ 高知県黒潮町では、職員を地区担当制にして、防災マップの確認やワークショップの実施、各地区の要支援者名簿作り等をこまめに個別に実施している。防災部局だけでは対応が難しいので、地域に住んでいる職員が各地区に入り込んで個別細分化した対応を行っていく必要がある。
- ・ 亘理町では、自動車避難の計画を作成している。亘理町は高台やビルがなく、津波から徒歩で逃げられる場所がないという地域の特徴がある。
- ・ 一方、塩竈市は徒歩で逃げられる高台やビルがあるため、全員自動車避難可能としてしまうのではなく、高齢者や障がい者に限定する等の細かい検討が必要である。
- ・ また、自動車避難を実施するには、津波浸水想定エリアの住民だけではなく、自動車の避難受け入れ側も含めた市全体での訓練が必要になる。

市長

- ・ 先進事例を学ぶことは重要である。自動車避難に関しては市外の方への対応等、細かい取り決めが必要になってくると感じている。東日本大震災の教訓を生かして、計画に盛り込んでいきたい。

塩釜市民生委員児童委員協議会

- ・ 毎年作成している避難行動要支援者台帳はどこまで共有されているのか。

健康福祉部

- ・ 令和3年11月末現在、700名ほど登録されている。民生委員会、社会福祉協議会、消防事務組合、警察に共有している。その他一部町内会、自主防災組織にも共有している。

塩竈市自主防災組織連絡協議会

- ・ 資料3-8ページに挙げている被災リスクのある指定避難所の指定の見直しを行ってほしい。

事務局

- ・ 今回の地域防災計画の改訂において検討していく予定である。

- ・ 一部が土砂災害警戒区域に含まれている避難場所もあるため、実際に使用できる避難場所であるかどうかを確認していく必要がある。
- ・ 新たな避難場所を探しても見つかりにくい。
- ・ ガイドラインに基づき、自宅や友人宅など、避難所以外の安全な場所への避難も含めて検討していきたい。

塩竈市自主防災組織連絡協議会

- ・ 2月地震時に私有地内で落石事故が発生した。警戒区域以外の危険な場所の現地調査も必要であると感じる。

塩竈消防団

- ・ 資料3 15ページの課題を踏まえた記載事項が「消防団による支援など協力体制の明確化」となっているが、消防団員数は80名を下回っており、消防団員の高齢化も進んでいるため、消防団の支援は町内会へ行き届かせるのは難しいと感じる。

市長

- ・ 入札制度等に消防団員がいれば加点する等の工夫をしているが、あまり効果が出ていない。人口減少・高齢化が、多くの課題に起因しているが、それを解決する工夫をしていく必要がある。

宮城県塩釜医師会

- ・ 災害前、災害中、災害後でそれぞれ整理しながら議論していくことが望ましい。
- ・ 災害前にどのような対策をとるかを考える必要がある。また、災害別に整理する必要がある。
- ・ 医師会で災害無線を作成したが、中継塔が倒れてしまい役に立たなかったことがある。
- ・ 一つ目、二つ目のプランが崩れたときの対応策を考えおくことが必要だと感じている。

事務局

- ・ 現在の地域防災計画が災害の予防対策、応急対策、復旧復興の3つに分けていることから、同様に課題を整理し、計画に反映していく。

塩竈市浦戸振興推進協議会

- ・ 市民をいかにして安全な場所に移動させるか、が重要となってくる。
- ・ 地域防災計画に記載されている町内会の44の取組において、アンケートで挙がった市民が課題として抱えている内容について、どのように計画に生かしていくのかを早急に検討し、素案として作成してほしい。

事務局

- ・ 現状の課題については早急に解決していく必要がある。
- ・ 地域防災計画には課題として記載するだけでなく、課題を踏まえた対策を検討し、反映していく。
- ・ 市の職員だけでは足りない部分は自助、共助で対応できるように、地域の方との防災の考え方を密にしていきたい。

市長

- ・ 問題意識の整理、一つずつの課題の解決に向けて、防災会議で検討していきたい。

- ② 今後のスケジュールについて
資料4に基づき、事務局から説明した。

【質疑・意見等】

- ・ 特になし

(7) 閉会

以上